

## 令和6年度 三市連携・高校生地域づくり交流会 実施報告書

### 【実施概要】

- ◆名称 三市連携・高校生地域づくり交流会
- ◆開催日時 令和7年2月11日（火・祝）10：00～16：00
- ◆開催場所 せきてらす 多目的ホール じゅうなひろま（岐阜県関市平和通4丁目12番地1）
- ◆対象 関市、美濃加茂市、各務原市に在住・在学の高校生
- ◆実施内容 第1部：地域づくり活動の事例紹介  
第2部：レクリエーション  
第3部：ワークショップ交流会
- ◆主催 関市

### 【実施実績】

- ◆参加者数（定員50名）
  - ・高校生 77名 参加
- 〈内訳〉
  - ・関市：V Sプロジェクト 10名、関高校 14名、関商工高校 11名、関有知高校 2名
  - ・美濃加茂市：地域活性化スクールプロジェクト 4名、加茂高校 28名
  - ・各務原市：各務原高校 5名、各務野高校 1名、加納高校 1名、岐阜東高校 1名
- ・担当者及び関係者 17名 参加

【記録写真】

・会場の全景



・集合写真



〈活動発表〉

・関市「若者活躍推進事業」



・関高校「子ども食堂」



・関有知高校「関有知マルシェ」



・関商工高校「スマホ教室」



・美濃加茂市「地域活性化スクールプロジェクト」



・加茂高校「地域活動と認知症予防」



・各務原市「まちづくり担い手育成支援事業」



〈レクリエーション〉

・会場の様子①



〈ワークショップ交流会〉

・会場の様子①



・会場の様子③



・各務原高校「図書館の活用」



・会場の様子②



・会場の様子②



・会場の様子④



### 【当日のタイムスケジュール】

- 10：00～10：15 オープニング
- 10：15～10：20 参加者同士の自己紹介（グループ内で）
- 10：20～12：10 【第1部】地域づくり活動の事例紹介
- 12：10～13：10 昼食
- 13：10～13：40 【第2部】レクリエーション
- 13：40～13：45 休憩
- 13：45～15：45 【第3部】ワークショップ交流会
- 15：45～16：00 クロージング

### 【実施内容】

#### 【第1部】地域づくり活動の事例紹介

- ◆目的：各市での地域づくり事業の紹介を行うことで、事業のPR及び地域・まちづくりへの興味・関心を持つきっかけづくりを図る。また各高校等での地域探究活動等についても、希望に応じて、事例紹介の場とする。
- ◆内容：団体で実施した地域活動・ボランティア活動など（高校での地域探究活動も含む）

#### 【第2部】レクリエーション

- ◆目的：取組の情報共有のみならず、地域や学校の枠を超えた交流の機会は貴重であるとし、参加者同士のコミュニケーションを図る。また地域に対するの興味関心の醸成を図る。
- ◆内容：関市在住・在学の高校生によるまちづくりプロジェクトチーム「VSプロジェクト」が考えたゲーム「〇〇といえば、これでしょ！」を実施。

#### 【第3部】ワークショップ交流会

- ◆目的：参加者同士の交流により、物事に対するさまざまな考えに触れることで、今後のまちづくりや自身の進路について考えるきっかけづくりを図る。
- ◆内容：KPT法を用いたワークショップを実施。今後まちづくりの担い手となる人材育成のため、地域課題解決のための考え方や地域と共創するまちづくりの手法について学ぶことができるワークショップを企画した。
- ◆タイトル：「地域とつながろう！「やってみたい」を形にするまちづくり」
- ◆講師：山本 真紀 氏（大八まちづくり協議会（高山市））

**【参加者の感想】** ※一部抜粋

- ・交流会に参加したことで仲良くなれた子たちがたくさんいてその人達は地域が違ったり、学校が違ったり、学年が違ったりで今回の交流会に参加しなければ関わることがなかったような人達だったので今回参加してよかったと思ったし、そのような人達の自分とは違う意見を聞くことができよかった。
- ・自分たちの行った活動を知ってもらったり、他の地域で行っている活動について詳しく知れてよかった初めて会う人とも沢山話せて、とても楽しい時間であったという間だった。
- ・楽しかったし、学びが多くあったのでとても充実した時間だった。発表の時にもっといっぱい質問して欲しかったなと思った。自分たちの活動を発表する機会もそうそうないので良い機会だったなと思った。
- ・市を超えて高校生と関わって、色々な意見をお互いに共有し、聞けてとても良かった。
- ・今まで、このような交流をしたことがなかったので楽しかったなと感じました。
- ・来る前は、どんなことをするのだろう？楽しいものなのかな、と不安な気持ちが多くあったけれど、活動を通して約半日でここまで絆を深めて、様々な観点からの意見を交流できることができて、有効な時間になった。
- ・他の地域の方々とこの言った交流の機会は多くあるものではないので、より自分の視野が広がって有意義な時間になった。
- ・他校の生徒や他地域に住んでいる生徒と交流する中で、いつもやっているような同じ学校の人とは違った視点や問題点などが浮き彫りになってきて、こちらも違った視点で考えるいいきっかけになった。
- ・この活動に参加したことで、もっと多くの活動に自分から参加して、地域や市に貢献していきたいと強く思った。